

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
周術期看護	3年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	山本 恵美子 ※
授 業 概 要					
周術期看護の特徴と周術期にある対象および家族の特徴をふまえて、周術期の対象および家族に必要な看護を判断し提供するための知識と考え方、および看護技術を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 様々な術式の特徴と看護について説明する。 2. 周術期各期の特徴と必要な看護を述べる。 3. 麻酔・手術侵襲が対象に及ぼす影響を説明する。 4. 各種ドレーンの特徴を知り、ドレーン管理の技術を習得する。 5. 周術期にある対象の状況に合わせた臨床判断の必要性和援助方法を考える。					
実務経験のある教員					
山本 恵美子：周術期看護の臨床経験をふまえて、クリティカルケアを必要とする対象および家族への看護について教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	1. 手術療法を必要とする対象・家族の心理状態の理解と援助 2. 様々な手術と看護 1) 開腹・開胸術の特徴と看護 2) 内視鏡下手術の特徴と看護 3) 血管内手術の特徴と看護 3. 術前の対象の看護 1) 術後合併症のリスクアセスメントと予防の援助 4. 麻酔・手術侵襲が対象に及ぼす影響 5. 術中の対象の看護（呼吸・循環の管理の基本はクリティカルケア） 1) 手術室の環境 2) 手術室看護師の役割 3) 手術中(入室時～退室時)の対象の安全・安楽を守る看護 6. 術後の対象の看護 1) 麻酔・手術侵襲からの回復を促す看護 ・身体機能回復のための援助 ・疼痛緩和 ・早期離床促進のための援助 2) 術後合併症予防の援助と、異常の早期発見および発現時の援助 3) ドレーン管理 ・各種ドレーンの特徴と管理 7. 演習 術前・術後の対象の事例について臨床判断を行い、対象に必要な援助を実施				山本 恵美子 ※
学 習 方 法					
講義 演習 グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験 レポート等					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
[教科書] 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 池上 徹 高橋 則子他 著 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 北川 雄光 江川 幸二他 著 医学書院					